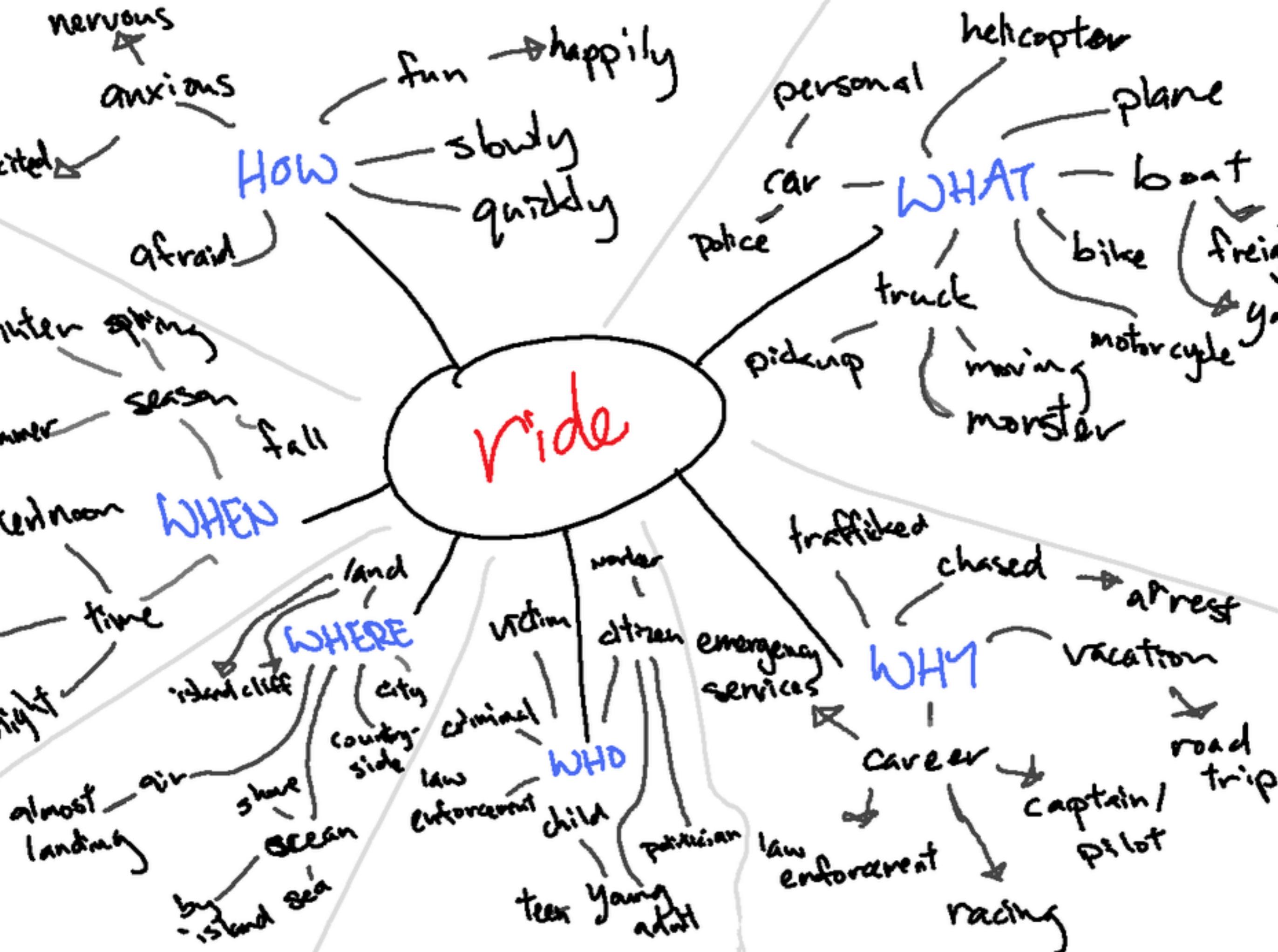


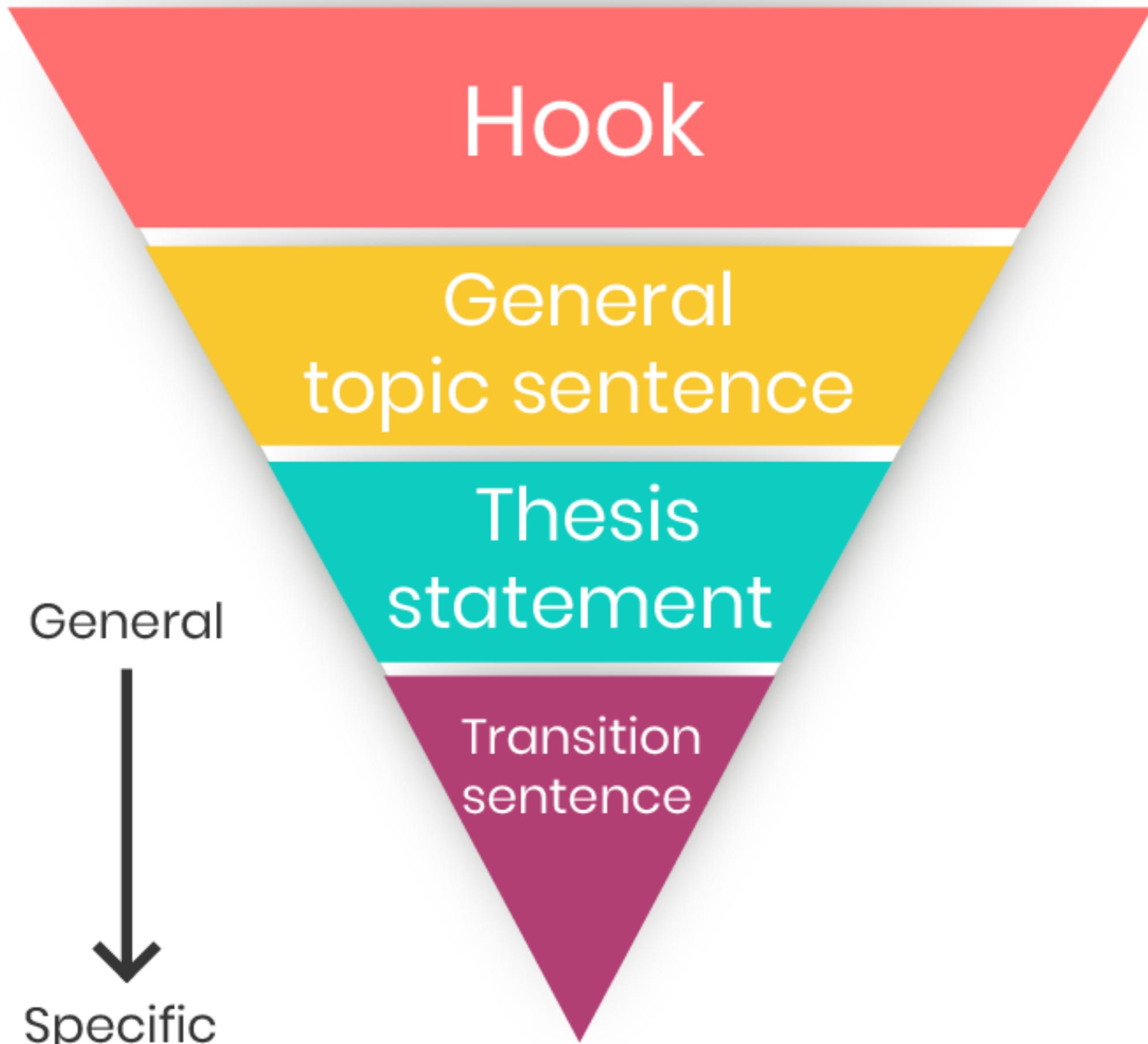
構成を考える時

# 言い忘れたこと

プレゼンにもレポートにも役に立つ

- 1.結論から先に言う場合がわかりやすい...
- 2.まずは聞いてもらわないといけない/読んでもらわないといけない...どうしたらいい? けちゅろんから言う
- 3.イントロを、逆三角形でいくか、三角形でいくか、





Hook

General  
topic sentence

Thesis  
statement

Transition  
sentence

General

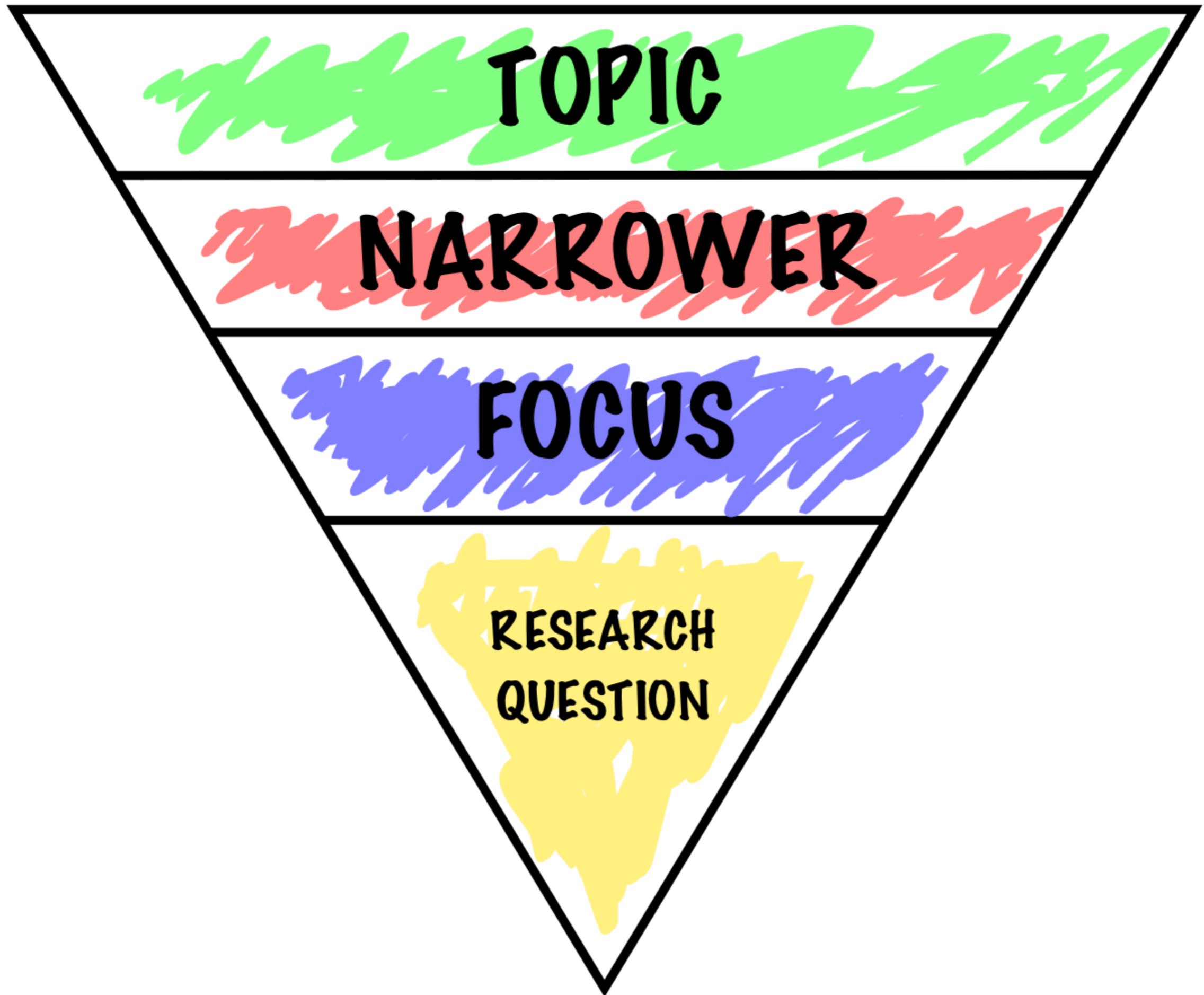


Specific

# 逆三角形構造

読みてを引きつける形で書く場合

- **Hookの部分:** コンテンツ産業の市場規模は12~13兆円の規模になっている。それは日本だけでこれだけの規模になる。
- **General:** その中で規模が大きいのが動画コンテンツであり、3分の1を占め、その中でもテレビ番組が20%占めると言われている
- **Theis Statement:** それだけの市場規模があるのに関わらず、日本のテレビ放送業界の衰退は著しい。海外のコンテンツ産業よりも遅れをとっている（ここが主張、メイン、主旨の部分）
- **Transition Words:** その原因はなんであるのか、以下、日本のマスメディア産業構造、これまでのビジネスモデル、マスコミの規制と馴れ合い構造を明らかにする。それにより、これからの日本のコンテンツ産業の弱体化を防ぐ手立てについて検討するための道筋の提示を本論では試みたい。



# 逆三角形構造

学問的に書く場合、リサーチクエスチョンを示す場合

- **Topic:** 日本政府は自由競争を促すことを目的として放送法の改正を検討しており、政治的公平について定めた条文内容の撤廃を検討していることがわかった（多分、放送法と公平性がTopicと予想がつく）
- **Narrowing:** 日本ではこれについて新聞各社がこぞって取り上げたが、そこではアメリカの公平原則が導入されてから撤廃されるまでの歴史が取り上げられることがある。（なんかアメリカの話すんだな）

# 逆三角形構造

学問的に書く場合、リサーチクエスチョンを示す場合

- **Focus:** 日本でアメリカのメディアの公平性の政策方針についてとりあげられてはいるが、公平性に関して、日米で異なる認識があることは明確に示されることはなかった。（なんか、著者が言うには日本の論考には問題があるらしい）
- **Research Question:** 本論文では、日米の認識の違う部分を明確にするため、これまでのアメリカにおける歴史を振り返り、放送の公平原則の流れを変えることを決定付けたデイリー裁定およびその後の議論を考察し、日本の放送の公平性を巡る問題に対してどのような示唆が得られるのか検討する。（リサーチクエスチョン = アメリカの公平性を巡る議論が、日本の公平性を巡る問題にいかなることを示唆するのか？）

Introduction

Thesis statement

Topic sentence

Paragraph 1

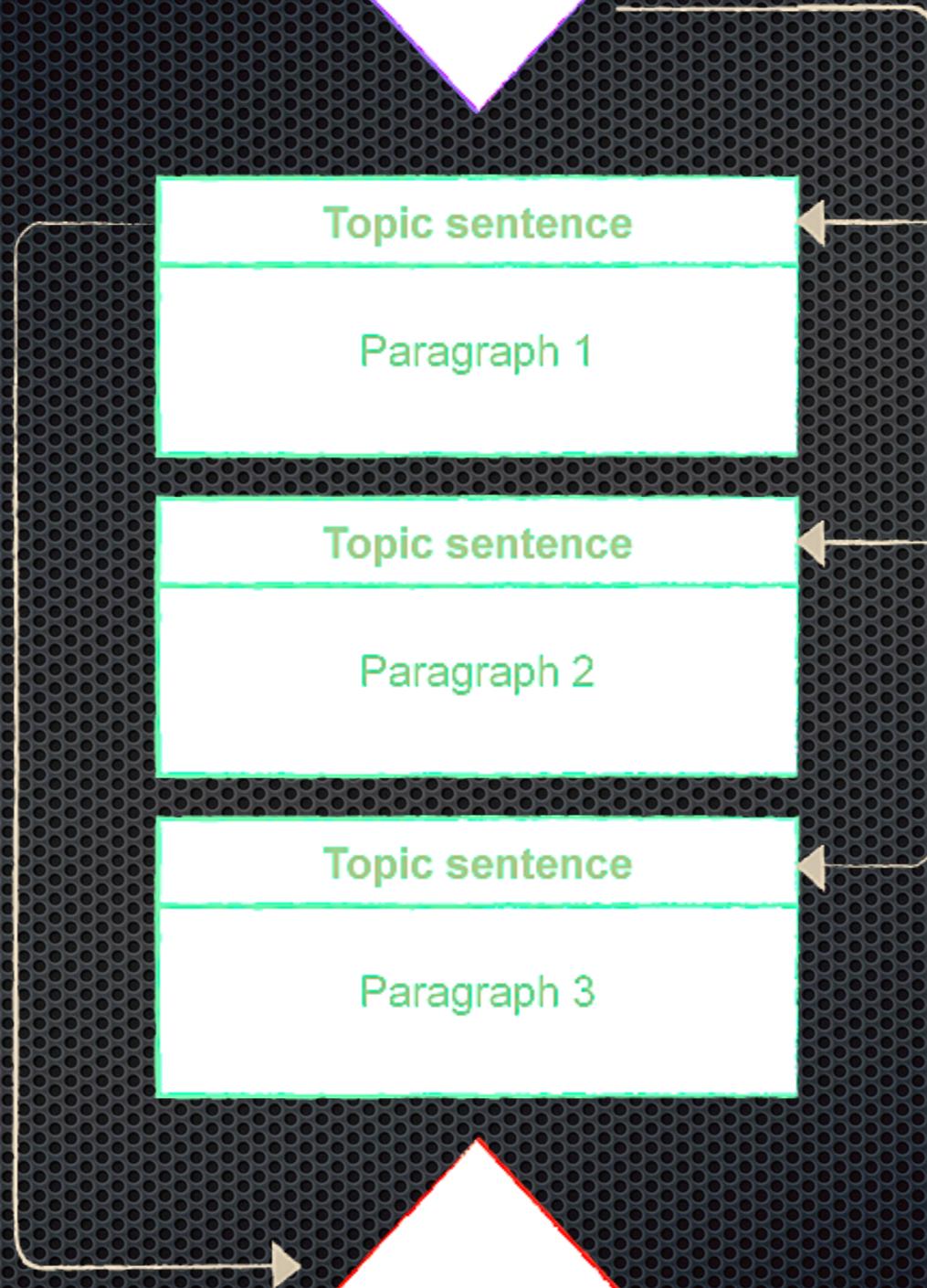
Topic sentence

Paragraph 2

Topic sentence

Paragraph 3

Conclusion



# 文章の構造

本、長文、論文、レポート

||

数個のパラグラフ（段落）から構成される文

# 文章の構造

## Structure of Paragraph

Introduction (開始文)

Support 1/evidence1/データ、証拠、説明、例1

Support 2

Support 3

Conclusion (まとめの文)

# 文章の構造

## Structure of Paragraph

Introduction: 非対面の授業は良い面がある。

Support 1 通学時間がなくなり、時間が増えた。

Support 2 場所に制限されずどこでも受講できる。

Support 3

Conclusion (まとめの文)

例外もある

# 文章の構造（例外1）

## Structure of Paragraph

Introduction（開始文）

背景や余談

メインポイント

メインポイントに関連した話し

Conclusion（まとめの文）

# 文章の構造 (例外1)

## Structure of Paragraph

余談

余談1

余談2

メインポイント (まとめの文)

イントロ

Topic 1

Sub-Topic a

Sub-Topic b

Topic 2

Sub-Topic a

Sub-Topic b

Topic 3

Sub-Topic

結論 アウトロ

# 通学で困ってること

## 交通機関

キャンパスが最寄り駅から遠い

公共交通機関の本数が少ない

## スクールバス

本数が少ない

混雑する

## オンラインと対面

対面とオンラインの授業がバラバラだ

改善してほしい

# 本の構造

Structure of essays/books/reports/articles

イントロ (序章)

第1章 (背景)

第2章

第3章

最終章 (まとめの章)

# 先行研究レビュー・レポートの場合

If you write only review of previous studies...

はじめに（研究テーマの紹介、問題の指摘、メインポイント、何が言いたい  
か...）

研究をしたいと思ったきっかけなど...

先行研究レビューの概要

先行研究の紹介と詳細

先行研究の傾向、言説わかったこと

先行研究への批評、考察、全体像の説明

最後の段落（まとめ、結論）

# レポートの構造

## Structure of essays/books/reports/articles

最初の段落（研究テーマの概論）

次の段落（研究背景、先行研究レビュー、研究意義）

その次の段落（問題点の指摘、仮説など）

その次の段落（データの共有、実験結果、調査結果など）

最後の段落（まとめ、結論、分析結果、論考、考察）

# その他気をつけること

- 1.かけるところから書き始める（できなかつたら最初から順でいい。先生の場合順番に書かないと思考停止する）
- 2.読み手を意識する（誰に対して書くか）
- 3.自分の言葉を大事にする
- 4.資料からの情報は出典を明らかにする
- 5.命題を明確にする。主旨を明確にする

# その他気をつけること

- 1.自分の見解、一般論や一般的知識、他者の見識を区別すること
- 2.問題設定と結論が大事になる
- 3.命題を明確にするには大量のインプットが必要
- 4.統一すること...言葉、スタイル、全部

# 文章の表現

# 文章の表現

慣れないけど、慣れるとしか言えない

です、ます調と～である調を使い分ける

アカデミックは、語尾が基本「である」調。

例:研究者の書く論文表現では、文章の語尾は原則として「～である」「～だ」で終了する。

人文系の表現:～であると考えられる。～であると理解できる。

基本的に文語体（先生は中々できないので、論文を書く時最低10回は書き直す。）

レポートとは何？

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: レポートの種類

- レポート: 報告書に近いもの、与えられた問に対してどれだけ情報収集したか、どれだけ理解しているか、事実や理論に基づいて、どんな思考過程で問に答えるか報告する
- アカデミックエッセー (小論文) : 情報を収集し、自分の意見・考えを主張する

\*どちらも【問題提起・問題意識・興味関心→情報収集→考察・意見・見解・解釈・分析結果など→まとめ】という流れは同じなので、どちらもレポートという場合が多い

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: レポートの種類

- 調べ学習：記事の事実について調べ、その結果をまとめた文章。考察なし、というかする必要がないもの
- 感想文・エッセー：主観的かつ根拠を必要としない文章、出来事や感想など、経験に基づく内容が主となる。

\* 調べ学習などは、仕事上の報告書にも近い。調べて単に事実を報告するのみ（理系や実験系の分野は、これをレポートや論文としている場合がある）。

\*主観や出来事や経験に対する自身の視点を加え論理的に展開すれば、文化人類学などではレポートになりえる

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: レポートの核となるもの

- 序論、本論（中論、考察）、結論、参考文献リストで大体構成される
- 序論と結論だけ読めば内容が把握できるようにすることがベスト。序論・結論は簡潔且つ正確に（ただし、文学などの人文系の場合はそうじゃない場合もある）
- 核となる部分は本論。データや文献（具体的な情報）から、考察や自分が伝えたいこと（抽象）を導き出す。全体の6割以上を占めるのがベストという場合がある
- 大学のレポートには、提出日、レポートの題名、学年と学部学科、学籍#、氏名を冒頭ページに含める

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: レポートのタイトル

- レポートのタイトル、章・節のタイトルは書いた内容を表すものが良い
- 「～考察」と書かないほうがいい。全てのレポートは考察するから...考察で終わるんか、といった印象を与える
- 序章、本論、結論と章のタイトルを書いても問題はないものの、印象は書くことがなかったとなる
- 「ここでは僕が感じたことを書いてみたい・これから私自身の考えを論じていく」といった砕けた表現や、クドい文章をなるべく書かなくていいように、見た人がタイトルで判断できるようにするのがベスト

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: 序論で書くこと

- 主題（テーマ）やメインポイント（趣旨）の提示、レポートで何についてあつかうのか、検討するのか。
- 主題への導入: レポートで扱う事前知識、背景知識、主題に関係する論点、問題点を共有
- （動機）: 主題を扱う理由。問題点の共有に関係して論じる。自分が興味があったから、と書く傾向にあるけれど、そう書かないこと。
- 目的: その主題を考察/検討することで何が得られるのか、結論はどうなるのかを提示する

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: 本論で書くこと

- 統計資料、データ、アンケート結果、文献資料、視聴覚資料、インタビュー内容、調査資料などから、自分がレポートで伝えたいことを導き出す部分
  - 統計資料：比較等をして、ある事象を説明する根拠として用いる
  - 文献内の記述（他人の意見）：何かを説明したり文献の記述を検討したりする
  - 自分の考えたこと：考察や自分の意見を、資料を基にして述べる
- なるべく資料の丸写し、資料の単なる説明にとどめず、自分の考えや検証したこと、明らかとなったことを書く

# レポート関連基礎知識

## レポートの大原則: 結論

- レポート内で何が判明したか・何を主張したかったかを簡潔にまとめる。
- さらに、課題や展望を書いておくと良い。
- ここで持論や批判を述べてもよい。ただし根拠は示す
- 本論の総括：本論で得られた考察または強調したい意見・主張を簡潔に言い換え
- 課題：このレポートではっきりしなかったことや今後の課題
- 展望：このレポートで得られた考察はどのように役立つか
- 批判・主張・提案・何が求められるのか・何が必要かを最後に根拠も示した上で書くこともある

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: 注意すべきこと

- 事実と意見はわけて書く
- 事実 → 真偽が判断できる内容 (例: 人間は必ず死ぬ【経験的な事実】 地球は丸い【天文学でも証明された事実】  $n$ 角形の内角の和は $180 \times (n-2)$ の方程式で求められる【論理的な事実】)
- 意見: 客観的あるいは距離において見た場合に、真偽がすぐに判断できないもの。主観。意見に客観性をもたせるのは言い方。論理的に述べることが需要
- 意見の記述 「と思われる」「と考えられる/考える」「と推測される/推測する」「～あることは興味深い/注目に値する」「～と捉えることができる」「との印象を受ける」

現在、地球には200以上の国家が存在する。それぞれの国家で異なった文化や宗教が存在すると考えられる。文化や宗教には優劣がなく、全てを同一の物差しで推し量ることは不可能である。

現在、地球には200以上の国家が存在する。それぞれの国家で異なった文化や宗教が存在すると考えられる。文化や宗教には優劣がなく、全てを同一の物差しで推し量ることは不可能である。

現在、地球には200以上の国家が存在する。それぞれの国家で異なった文化や宗教が存在すると考えられる。文化や宗教には優劣がなく、全てを同一の物差しで推し量ることは不可能である。

現在、地球には200以上の国家が存在する。それぞれの国家で異なった文化や宗教が存在すると考えられる。文化や宗教には優劣がなく、全てを同一の物差しで推し量ることは不可能である。

# 修正案

現在、地球には200以上の国家が存在し、それぞれの国家で異なった文化や宗教が**存在する**。文化や宗教には優劣がなく全てを同一の物差しで押し量ることは困難である。

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則: 剽窃 (Plagiarism) にあたるもの

- 出典はどんなものでも漏らさずに記入する (大原則) 以下コピーの種類...
  - 直接剽窃: 一言一句変えずに剽窃
  - パッチワーク剽窃 (モザイク剽窃): 色々な文献の内容を部分的につなぎ合わせて剽窃
  - パラフレーズ剽窃: 文章を言い換えして剽窃
  - 自己剽窃: 自分の著作物を剽窃
- 研究分野では当たり前という事項 (学説) あるいは通説、教科書に記載されるほど明白な事実の場合は、出典を必要としない。
- 新書などは著者によって出典を掲載していない場合がある

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則:文語体を基本とする（先生も未だにできない）

- 学術的文章は基本文語的表現（書き言葉）を使用。【常体で書く】だ・である調
- 一人称（これは賛否両論）なるべく少なくするのがいいというのが先生の考え。
- 一般的に、大学の論述やレポート、ニュース、会社の報告などは一人称がないほうが良いとされる傾向が強い
- 人類学分野では、必要に応じて「私」を使うべきであるとする考え方と、「私」は主観性が強くなるので不適切、という人に分かれる
- 必要な場合は次の表現を使用: 筆者は、執筆者は、本稿では、本レポートでは、本応募者は、本課題では、本論では、など

# レポート関連基礎知識

レポートの大原則： 書き方

- 一文一義（ワンセンテンス、ワンアイディア）
- 一段落に、ワントピック（トピック = 話題）。一文に2つの情報が入ると読み手は混乱する。（先生がやりがち）
- 日本語ではよくある。「が」の使い方は要注意。「しかし」としての「が」なのか、単につなげるための「が」なのか等色々あるので、そこは要注意
- 文章ベタであれば、最初は文を短く切る。
- といいつつ、先生も全然書けない...書き直しに大半時間かける

次の文、どれも同じこと書いている。どれが読みやすい？

地球温暖化の主要な原因物質である二酸化炭素の排出量を抑制するための炭素税は、その排出量によって税金を徴収するシステムである。

二酸化炭素は地球温暖化の主要な原因である。二酸化炭素の排出量を抑制するため、排出量によって税金を徴収する炭素税が導入された。

炭素税は、地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素の排出量を抑制する目的で作られた。二酸化炭素の排出量によって税金を徴収するシステムである。